



子どもは社会の宝（平成26年9月代表質問）

日本の人口は2008年の1億2808万人をピークに減少しており、このまま出生率が低い状態が続くと、34年後の2048年には1億人を切り、**2060年には8674万人に減ってしまう**と推計されております。

生まれる子どもの数が少なくなっていることが、人口減少の大きな要因ですが、厚生労働省の人口動態統計速報によると、今年上半期に生まれた赤ちゃんは49万6400人で、**昨年の同時期に比べると2.7%減少**しており、下半期の動向によっては**年間の出生数が初めて100万人を下回る可能性**があります。

また、日本の人口を維持するために必要な合計特殊出生率の水準は、**2.07**とされておりますが、**2013年における合計特殊出生率は1.43**です。

少子化を加速させる一因が、**未婚化や晩婚化の進行**ですが、内閣府の統計によりますと、50歳までに1度も結婚したことがない人の割合を示す**生涯未婚率は、2010年で男性が20.1%、女性が10.6%**であり、30年前に比べ、男性は約7倍、女性は約2倍になっております。

このまま少子化に歯止めがかかれば、人口減少の一途をたどることになり、産業、経済をはじめ、地域の活力や生活に深刻な影響を及ぼします。

こうしたことから、政府はこのたび、「**2060年時点で1億人の人口を維持**する」ことを目標に、中長期の戦略を打ち出す方針であり、先程も御紹介しました「まち・ひと・しごと創生本部」においても、抜本的な子育て支援対策を打ち出されるとのことであり、我が会派といたしましても、期待をしているところでございます。

一方、**山口県の状況**を見ますと、**2013年における合計特殊出生率は1.56**と全国平均よりも高くなっておりますが、**出生数は、昨年1万705人と過去最低を更新**しており、このままでは、知事が目指される「活力みなぎる山口県の実現」に影響を与えかねません。

今後、人口減少に歯止めをかけるためにも、出生率の向上に結び付く**有効な少子化対策を講じることが極めて重要**であると考えます。

こうした中、県でも新たな少子化対策を進められており、村岡知事は、志をともにする **11 県の知事による「子育て同盟」に加盟**されるとともに、先月 24 日には、全県的な組織として「**やまぐち子育て連盟**」を設立し、知事自らがそのキャプテンに就任され、子どもや子育て家庭を支援する活動を広げていく決意を表明されたところです。

子どもは社会の宝です。その宝を育むお父さん、お母さんも社会の宝です。

知事の今後の対応に期待をいたしますが、他県では、結婚に対する支援に積極的に取り組む自治体も増えており、本県においても、一步踏み込んだ取り組みを進めていく必要があると考えます。

また同時に、子育て環境は、複雑・多様化しておりますので、子どもに関する相談への対応強化や保育サービスにおける質や量の確保など、安心して子どもを生み育てられる環境の整備も、少子化対策には重要です。

そこでお尋ねいたします。

やまぐち子育て連盟の設立を契機として、安心して、結婚、妊娠・出産、子育てができる支援を積極的に推進していく必要があると考えますが、知事は今後、少子化対策の強化にどのように取り組まれるのかお伺いいたします。

<村岡知事 答弁>

急速な少子化の進行は、地域活力の低下はもとより、社会保障制度の持続等にも大きく影響を及ぼすことから、少子化対策を強化することが極めて重要と考えています。

このため、私は、現在策定中の「チャレンジプラン」の突破プロジェクトに「子育てしやすい環境づくり」を掲げ、社会全体で子どもや子育てを支える「みんなで子育て応援山口県」の推進、「妊娠・出産・健やかな成長のための保健医療サービスの充実」、子どもの安全確保、健全育成を図る「子どもを守る取組の推進」を重点施策として位置づけ、少子化対策に積極的に取り組むこととしています。

具体的には、全県的な組織として新たに設立した「やまぐち子育て連盟」を中心に企業、関係団体等と連携しながら、結婚から、妊娠・出産、子育てまで切れ目ない支援を強化することとしています。

まず、お尋ねの「結婚に対する支援」につきましては、独身の男女に新たな出会いの場を創出するとともに、結婚に向けた相談・仲介等を行う婚活サポーターの養成により、地域・企業ぐるみの支援体制の構築を図るなど、新たな取り組みを進めてまいります。

次に、「安心して子どもを産み育てられる環境の整備」については、子育て家庭の多様なニーズに対応するため、事業の実施主体である市町と連携しながら、保育施設や放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点等の整備・充実を計画的に進め、これに併せて、新たに子育て支援員を養成するなど人材の確保に努めるとともに、企業等を巻き込んだ多子世帯への支援を充実するなど子育て家庭の経済的負担の軽減を図ってまいります。

また、複雑・多様化する相談に対応するため、児童相談体制を充実・強化するとともに、産科医・小児科医の確保等による周産期・小児医療体制の充実や不妊治療費助成等による不妊治療に対する支援の充実を図ってまいります。

私は、県議会の「人口減少・地域活力維持対策特別委員会」の審議も踏まえ、市町や企業、関係団体と連携し、若い世代が希望を叶え、安心して結婚し、妊娠・出産、子育てをすることができる山口県の実現に向けて、子育て連盟のキャプテンとして、私自ら先頭に立って、少子化対策に全力で取り組んでまいります。